

植栽方針

- ・好奇心を刺激する自然的なガーデンの創出
- ・各エリアのキャラクターを生み出す植栽計画
- ・エリアの境界を明確にせずグラデーションで移り変わる緑の風景

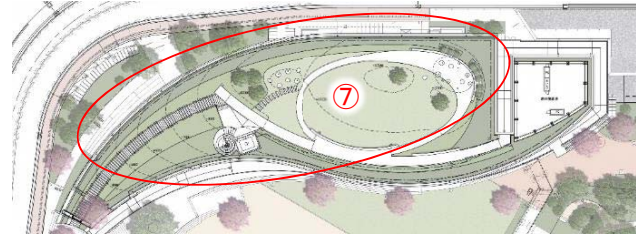
①桜のエントランス

- 【整備イメージ】
- ・手塚記念館入口と一体感のある空間整備
 - ・地域に開かれ、新しい施設の顔となる空間
 - ・文化芸術施設や庭園へ自然と誘うアクセス性に配慮した動線
- 【植生等】
- ・花のみちと連続する桜の名所を形成
- 【候補樹種】
- ・高木：ジンダイアケボノ（新植）、カイノキ（既存）
 - ・中木：トキワマンサク



⑦ルーフガーデン

- 【整備イメージ】
- ・環境都市宝塚を象徴する原っぱの丘
 - ・文化芸術施設を含め、敷地全体をガーデンととらえたランドスケープ
- 【植栽方針】
- ・様々な活動が展開できる芝生の広場と草地の丘を形成
 - ・パーゴラによる日影の滞留スペースを設置
 - ・草地はシバをベースに、昔から日本にみられる高茎草本による原っぱの丘を形成



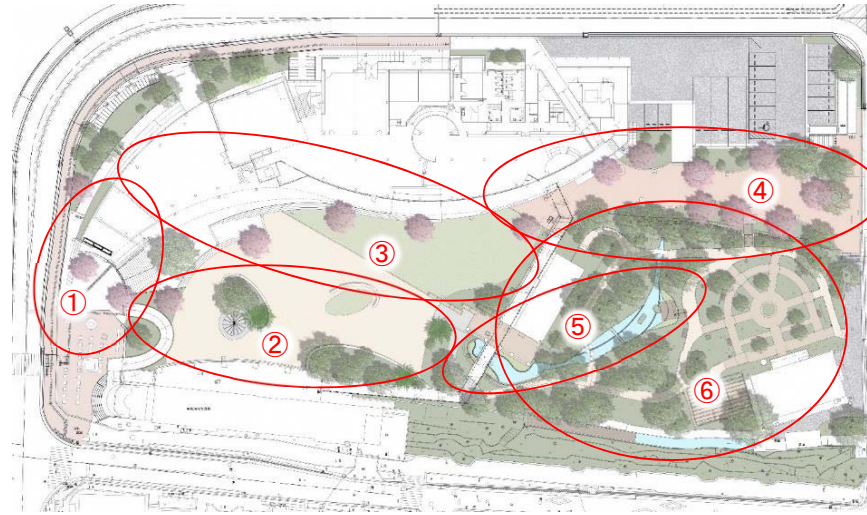
【候補樹種】

- ・中・高木：ジンダイアケボノ、ジュンベリー、コナラ等
- ・低木地被：シバ、チガヤ、ススキ、オミナエシ等
- ・外周部（柵周辺）：プリペット、ユキヤナギ



②いのちの広場

- 【整備イメージ】
- ・子どもたちの自由な活動を受け止める空間
 - ・公園活用サポーターがプレイヤーとなり子どもたちの遊びをサポート
 - ・大規模イベント時は、みんなの広場と一体的に活用
- 【植栽方針】
- ・常緑をメインにした緑量豊かな植栽
- 【候補樹種】
- ・高木：クスノキ（移植）、ヤタイヤシ（移植）、ネムノキ（移植）
 - ・中木：セイヨウキョウチクトウ（移植）等
 - ・低木地被：クリスマスローズ、タマシダ、ヤブラン、カレックス（スゲ）等



④桜のプロムナード

- 【整備イメージ】
- ・桜並木の風景を継承
 - ・市民の日常を彩り、交流を促す賑わいの空間
- 【植栽方針】
- ・さくら橋公園へ連続するサクラの保存と新植
 - ・移植木を活かし沿道のボーダー花壇を形成（市民管理の花壇）
- 【候補樹種】
- ・高木：ソメイヨシノ（既存）、ジンダイアケボノ（新植）等
 - ・中木：セイヨウキョウチクトウ（移植）、スモークツリー（移植）等
 - ・低木地被：市民による植栽・管理活動を想定



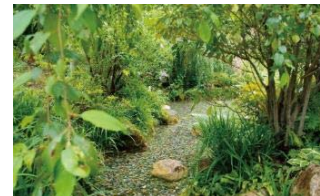
③みんなの広場

- 【整備イメージ】
- ・文化芸術施設と庭園の連携
 - ・全天候型のイベント広場（ピロティ空間）の活用
 - ・広がりのある芝生の空間
 - ・大規模イベント時は、いのちの広場と一体的に活用
- 【植栽方針】
- ・芝生と桜、緑陰樹をベースにした広場空間の形成
 - ・芝生エリアからメインガーデンへとグラデーションで変化する草地空間を創出
 - ・草花を使った遊びなどイベントに使える植栽を展開
- 【候補樹種】
- ・高木：ジンダイアケボノ、ケヤキ等
 - ・低木地被：シバ（広場）、オミナエシ、フジバカマ、ワレモコウ等



⑤せせらぎ

- 【整備イメージ】
- ・旧宝塚植物園時代から人々の記憶に残る水辺と欄干の風景を継承
 - ・水に親しみ動植物に触れる環境への学びと遊びの空間
- 【植栽方針】
- ・隣接エリアの風景に合わせた水辺空間の演出
- 【候補樹種】
- ・低木地被：セキショウ、カキツバタ、ミソハギ等水辺の植栽



⑥メインガーデン

- 【整備イメージ】
- ・花にあふれた宝塚のイメージを象徴する空間
 - ・良好な樹林環境を保全、活用し次の世代に残す
- 【植栽方針】
- ・既存植栽を活用しながら、季節感を演出する宿根草を補植
 - ・市民による庭園管理や多様な関わりを支える空間
 - ・宿根草を中心とした季節の変化を楽しめる植栽
- 【エリア】
- テラスガーデン、メドウガーデン、ナチュラルボーダーガーデン、ナチュラルローズガーデン、シェードガーデン、フォレストガーデン、ウォーターガーデンを展開

（次項参照）

⑥メインガーデン

<位置付け>

- 宝塚の象徴** : 花にあふれた宝塚のイメージを象徴する高質なガーデン
- 緑花推進への寄与** : 花をきっかけに「花のある暮らし」にあこがれ、まちに花と緑が増える
- 民度の向上** : 高質なガーデンが当たり前の風景として、日常的に存在することで、市民の文化的民度が上がる
- 発展的な市民参画** : 高いレベルでの市民の関わりが期待でき、市民参画の広がりにつながる

<基本デザイン方針>

既存庭園を活用しながら新たな魅力を付加した高質な庭園空間

- ・安全性や維持管理に支障のある樹木以外は積極的に保存。
- ・宿根草を中心とした季節変化を楽しめる四季の庭。
- ・既存のガーデン空間に新たな居場所をつくる。

市民による庭園管理や多様な関わりを生む空間

- ・ガーデンサポーターによる管理やガーデン案内。
- ・子どもたちが花をきっかけに文化を学ぶ。

※低木・地被類、宿根草 現況：新種の比率 (○:○)

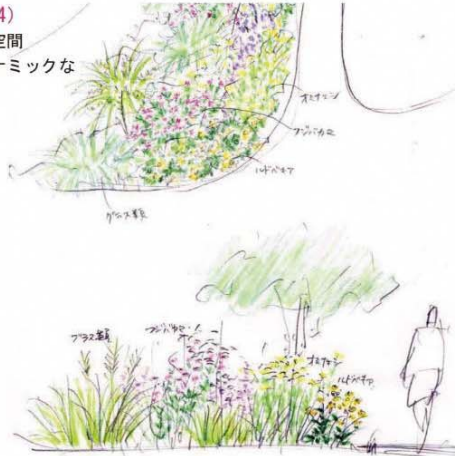
□テラスガーデン (5:5)

- ・建物に隣接するテラス空間



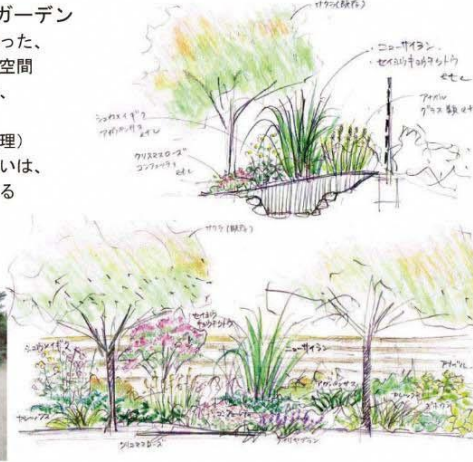
□メドウガーデン (6:4)

- ・比較的高木の少ない明るい空間
- ・高草種をベースにしたダイナミックな草地風景の演出



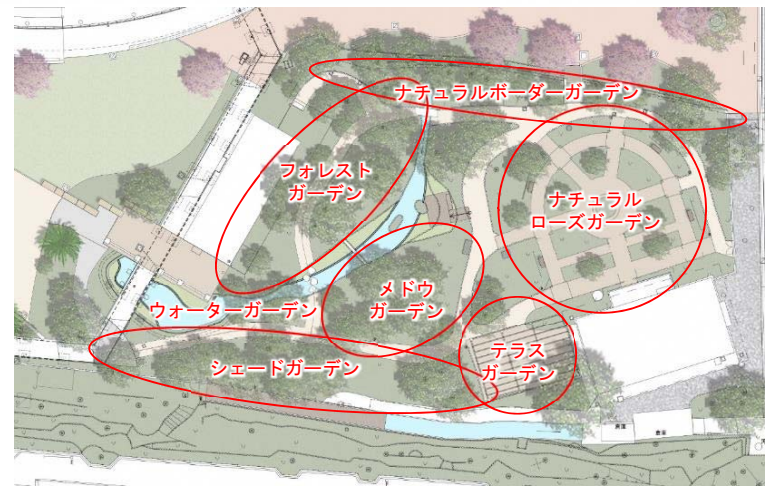
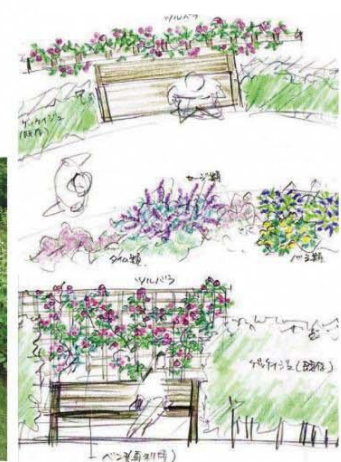
□ナチュラルボーダーガーデン

- ・ガーデン周囲の動線に沿った、日当たりの異なる二つの空間
- ・日当たりの良い園内側は、入ってみたいくなる高質な花の演出 (プロ管理)
- ・やや日陰になる花の道沿いは、園芸活動の実践の場となる多彩な演出 (市民管理)



□ナチュラルローズガーデン (2:8)

- ・建物前の日当たりの良いオープンな空間
- ・既存の庭園に多く見られたバラやハーブ類を中心に混植した華やかな演出



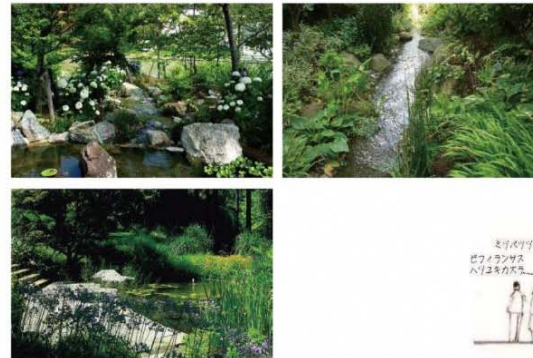
□シェードガーデン (7:3)

- ・南側樹林帯に接する日陰の疎林空間
- ・日陰に強い植物を組み合わせ、カラーリーフなどで明るさを演出



□ウォーターガーデン (5:5)

- ・自然風の流れと疎林のある空間
- ・地形と水の条件に応じた多様な水生植物を取り入れた演出



□フォレストガーデン (7:3)

- ・大径木を含む樹木が多く残る林空間
- ・自生種をベースとしながら園芸品種等も取り入れて、季節感ある樹林風景を演出

